

講演「カナダ合同教会の歴史と現状」要旨

講師：ロバート・ウィットマーさん（農村伝道神学校校長・カナダ合同教会宣教師）

1. カナダ合同教会はどんな教会

カナダ合同教会は、メソジスト教会、組合教会、3分の2の長老教会、「ユニオン」教会が1925年に合同して、カナダで一番大きなプロテスタント教会となりました。当時60以上の先住民族の教会もありましたが、決定には参加できませんでした。1968年に「合同福音同胞教会(Evangelical United Brethren Church)」が加わりました。

・カナダ合同教会の特徴

カナダには2018年まで16教区ありました。例えば日本の面積の10倍の「モントリオール&オタワ教区」では、269教会と183牧会区域があります。カナダ合同教会は、小さな町々にある農村（地方）の教会であり、兼牧が多く多様性のある教会です。約60の先住民族の教会、12の他民族言語教会、フランス語圏は12教会あります。「新しい信条」と「くすしきみ恵み」の讃美歌は英、仏、クリー、日、韓、中、フィリピン語で賛美歌に掲載されています。

・カナダ合同教会の牧師？

カナダ合同教会への所属意識のある人は200万人ですが、礼拝出席者は約13万人で高齢化が進み、日本と同様、多くは教会生活を必要としていません。カナダ人の5人に1人はカナダ生まれではなく、250以上の民俗と文化圏が背景にあります。毎年約25万人となる移民は、フィリピン、インド、中国、イラン、パキスタンの順です。宗教意識はカトリック、プロテスタントが約70%の他、イスラム、ヒンズー、シーク、仏、ユダヤ教と続き、無宗教は約24%です。カナダ合同教会はプロテスタントの中で一番大きく6%です。

カナダ合同教会には、按手礼を受けている牧師とは別に、学校・病院・刑務所で働く按手礼を受けない牧師、一定の研修を受けて任命された信徒牧師、礼拝指導をするライセンスのある信徒牧師、聖礼典を執り行うことのできる「長老」牧師がいます。隣の教会といっても何百キロも離れている場合もありますし、必ずしも按手礼を受けた牧師がいるとは限りませんので、さまざまな牧会や聖礼典の方法が考えられています。

総会は全国13教区で選出された正議員によって、これまで43回（はじめは2年おきでしたが、現在3年おき）開催されました。都会で開催するだけでなく地方の小さい町で総会を開催してきました。2018年の総会は正議員356人、その他青年80人～110人（その内すくなくとも13人は正議員）、陪席者、外国パートナー代表、バンドメンバーなどです。総会議長の任期は2年でしたが、1994年から3年になりました。1968年以降の総会議長は、信徒4人、女性6人、先住民族1人、アジア系の人1人、アフリカ系の人1人、レズビアン女性1人、ゲイの男性1人でした。この事実はカナダ合同教会の姿勢を象徴していると言えます。

主な議長を挙げると、ロバート・マックルアー（1968年～71年、はじめての信徒議長）、ウィル・ハワード（1974年～77年、アフリカ系カナダ人としてはじめての議長）、ロイス・ウィルソン（1980年～82年、女性としてはじめての議長）、アン・スクワイア（1986年～88年、はじめての女性信徒議長であり、セクシュアルマイノリティを取り上げ、その当事者が信仰告白をし、牧師になるたことは何の妨げにはならないとしました。）、サン・チュル・リー（1988年～90年、シベリア生まれの韓国系カナダ人）、スタン・マッケイ（1992年～94年、先住民ではじめての議長、国と教会の同化政策に基く寄宿学校経験者）、ディヴィッド・ジュリアーノ（2006年～09年、議長となってから癌が再発した中継続した）、ゲリー・パターソン（2012年～15年、ゲイ牧師ではじめての議長）、ジョーダン・カントウエル（2015年～18年、レズビアン牧師ではじめての議長）などです。

・信仰をどのように表現するか “THE”ではなく“A”です。

「新しい信条」(A New Creed) 1968, 1980, 1995年と改定されました。カナダ合同教会の信仰告白は”THE”ではなく”A”です。「これが完全で絶対に正しい」というものではなく、「私たちはこのような告白をつくりました。良かったらどうぞ使ってください」という考え方です。1968年の版は、Man is not alone, でしたが、1980年にはWe are not alone, に直し、manやhisは、weやtheやGod’sに直しました。また先住民族からの指摘を受け、1995年には「被造世界を大切に生きてするために」という表現(to live with respect in Creation)を加えました。カナダ合同教会のクレストも変化してきました。ラテン語・英語・フランス語・先住民族の言語と大切な4色とを加えました。加筆した言葉は、「すべての命がつながっている・All My Relations」という意味の原語です。

カナダ合同教会の週報を見るとわかりますが、「教職」や「教師」という言葉は使いません。牧師Pastorという言葉は使いますが、minister(仕える人)を用います。牧師が権限を持っているわけではなく、教会員皆がministerであると書かれていて、何らかの役割をもっています。そして週報には地域社会の出来事がよく書かれています。例えば、低所得者の子どもたちのために文房具を集める呼びかけや、シリアの難民支援、イスラム教徒を支援するプログラムなどが紹介されます。

カナダ合同教会は、先住民族に対して2回（1986年と1998年）、謝罪しています。例えばカナダ合同教会のメールの最後には、「カナダ合同教会の建物と働きは東から西から北まで先住民族の伝統的な土地に立っていることを認識しています。」という文章が必ず付記されています。また、最近の週報には、「私たちの教会は先住民族の土地に立っている。感謝と尊敬をもって先住民族がこの大地を大切にすることを覚えて、神さまのみ心に適う新しい関係がつかれることを願っています。」と書かれている場合もあります。

・カナダ合同教会の礼拝・聖餐式

子どもたち、高齢者が一緒にろうそくの灯を付けたり、日本語（他言語）での祈りをしあう意味、複数の教会に配信されるパワーポイントを用いての礼拝、コーヒータイム礼拝（平日）、輪になる礼拝（礼拝堂でない部屋で）、ジャズ礼拝（ジャズの背景にある福音に触れる）などもあります。

カナダ合同教会の聖餐式の姿勢は、イエス・キリストがすべての人を招いているとして
います。「必要としている者のためにパンは用意されています 切望する者のためにぶどう
酒は用意されています 生まれ変わりたい者に主の食卓は呼びかけます すべての者は招
かれています それは信じるからではなく信じたいからです どうぞこの食卓へ すべて
が準備されています。」(聖餐式の式文例の一部抜粋)

・カナダ合同教会の総会 2018 年 7 月

総会資料は事前に配信されるため紙の資料はなく、投票もパソコン上でなされます。
聴き、話し合い、決定するという過程を経ます。2018 年の議長候補者は 10 名でした。
女性 7 名、信徒 2 名、先住民族 1 名、レズビアン 1 名、障がい者 1 名で、教区や地区から
の推薦を受け、壇上でひとりずつ演説をします。今回は男性の牧師が議長になりました。

先住民族の言葉を聞く機会がたくさんあります。虐げられてきた立場からの声を聞く必
要があるからです。更に過去の総会を振り返り、どのような苦悩があったのかを演劇で表
現し、皆で振り返ります。セクシュアルマイノリティを取り上げた時の議長団の苦しみを
演劇で表現し、忘れないようにしています。教会のバンドによる音楽も重要で、主張の違
いから喧嘩になりそうになると BGM が入り、(笑) 本当に音楽に救われます。総会は 1 週間
ですが、予算・決算・選挙だけでなく、各教会に持ち帰る豊かな恵みがたくさんあります。

総会中に、多文化、民俗、ジェンダー、障がいなどにおいて、差別的な扱いがなかった
か平等に扱われていたかどうかをチェックして報告する Intercultural Observers が複数
いて、閉会する前に報告します。2018 年度の総会での報告の後、たくさんの差別事象が次
から次へと声があがりました。時間切れになった議案は常議員会に委ねられましたが、多
様性を大切にする視点はとても大切です。2018 年度の総会でカナダ合同教会の仕組みは大
きく変わりましたが、以下はそのテーマでした。

Risking Faith Daring Hope 神様を信じて歩もう 神様に期待しよう

「わたしたちは ひとりでは ありません。

わたしたちは 神の世界に生きています。

わたしたちは神を信じます。

神は世界を創造され、その創造のみ業は今も続いています。」

私たちの様々な課題に対し、神が働いておられることに期待し、信じて歩もうとしていま
す。

・カナダ合同教会のエキュメニカルな働き Cooperative Dialogue

聖公会、ローマカトリックと合同することはできないであろうが、互いの教派を認めあ
い、協力しあうための対話を定期的に行っています。それぞれの教派の牧師を認めあい、
他教派の牧師でも聖礼典を行うことができます。米合同教会(United Church of Christ in
USA)、韓国基督教長老会(Presbyterian Church in the Republic of Korea)、フィリピン
キリスト合同教会、キリストの弟子教会(Disciples of Christ)の4つと宣教協力関係が
あります。教派を越えて協力するためのハンドブック(Ecumenical Shared Ministries
Handbook)もあります。

世界の教会、協議会、エキュメニカル組織など 100 以上のパートナーと協力しています。パートナーは、アフリカ、中近東、アジア、ラテン・アメリカ、カリブ海において、協力し合い学びあいます。

2. 北海教区の宣教とカナダ合同教会とのつながり

・北海教区の宣教方針は革新、連帯、平和です。

① 革新（ヨハネ 16:12）② 連帯（ローマの信徒への手紙 12:15）③ 平和（詩篇 85:9～12）
神（イエス）の働きはピリオドではなく、カンマ、まだ終わっていないと思います。北海教区の方針を私はこのように捉えています。私は道北センターで働いていました。10 の教会と 2 つのセンターがあります。道北地区の大きな特徴のひとつは 1 泊 2 日の牧師会をしていることです。一晩一緒に過ごすことによって議事だけでなく、プロジェクトが生まれ、協力し合う関係ができます。

美馬牛福音伝道所は 1998 年頃建物も老朽化し、教会員は 3 人になってしまい閉じることしかないと考えましたが、道北教区は会堂建築に協力することを約束し、10 年かかって教会員も受け入れ、会堂建築をしました。現在、会員は 10 名になり、19 名が礼拝出席しています。カナダ合同教会も訪問し、聖書・賛美歌・椅子のために献金をし、クレストをプレゼンしました。

和寒伝道所は教会員がゼロになりましたが、代務者になった牧師は借金がある内は閉じられないとし、月 1 回第 1 木曜日に礼拝を続けたところ、地区内の教会から 24 人～35 人の高齢者が集るようになったのです。高齢者が来たことにより、会堂の清掃をはじめジャムを作ってバザーで販売し、借金もなくなり、教会は現在も続いています。カナダ合同教会からも訪問して説教を担当し、クレストもプレゼントしました。このように道北教区の教会は孤立しているのではなく、ひとつのチームですし、カナダ合同教会もいろいろな発見や経験を自分たちの教会に持ち帰って生かしています。

2017 年から道北地区では「連帯」のためスタンプラリーを始めました。地区の教会やセンターを訪問し、スタンプが揃うと、修養会でプレゼントがもらえます。カナダ合同教会からは個人的な参加もあり、豊かな交流が続いています。先住民族の方、牧師の家族なども訪れています。道北センターが企画して農民と交流の旅を始めました。カナダ合同教会本部訪問する旅も 1985 年にはじめました。その年に亡くなった母の墓前礼拝は大きな慰めでした。交流の旅は、1985 年、1987 年、1989 年、1993 年、2002 年、2003 年、2009 年、2012 年、2014 年と続いています。日本ではアジア学院や道北センターを訪問してもらいます。カナダ先住民族の方で神学校（ドクター・ジェシー・ソト・リゾースセンター 現サンディ・ソト・スピリチュアル・センター）を卒業された女性が来られ、教会の集会・学校・アイヌ民族との出会いなど、3 週間で 26 回も話してくれ、大きな宝物となりました。

道北地区の全教会から毎年、カナダ合同教会の先住民族神学校に献金を捧げています。できたら、農村伝道神学校の学生をそこに連れて行きたいと思っています。

2016 年 10 月、カナダ合同教会世界宣教部幹事のパティ・タルボットが北海教区を訪問してくれました。このような豊かな繋がりがあります。 （文責：比企敦子）